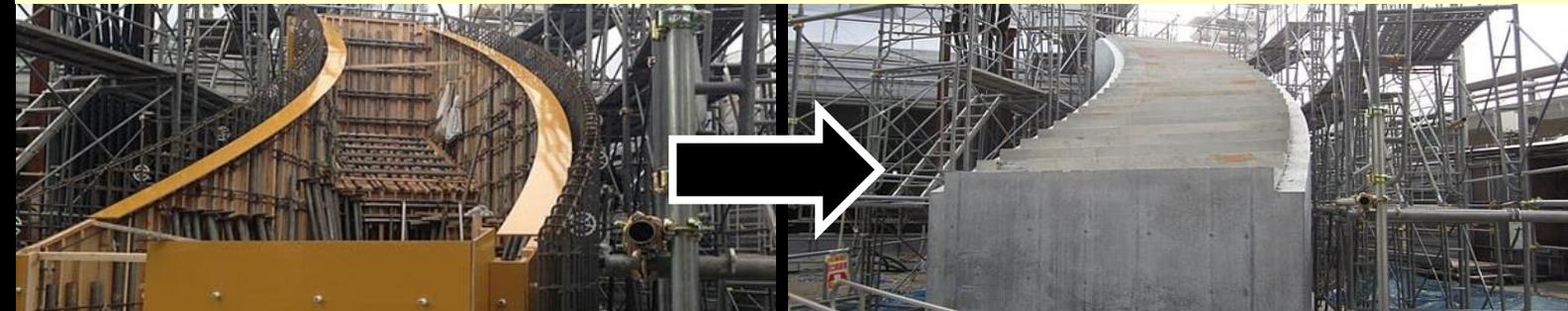




ナンバーワンだから、  
オンリーワンになれる。

ダイアックスは、コンクリート型枠用塗装合板の製造・販売を行っている。高品質の合板と職人の手で丁寧に仕上げた型枠を使い、ダイアックスだからこそ可能な建築物が完成する。世の中には消えていくオンリーワンが多い。誰もが納得する業界ナンバーワンを追求するからこそ、オンリーワンの存在として生き残れるのだ。北海道だけではなく、全国に広がるダイアックスの仕事がそれを証明している。



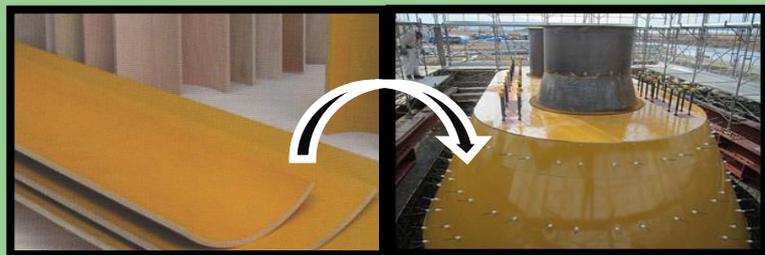


# ダイアックスのここがすごい！

ダイアックスは建設業や建築業にも携わる、幅広い分野でビジネス展開をする企業である。その中でも、南幌工場では、型枠用塗装合板、ノンスリップ塗装合板などを生産している。どちらも他社には真似できない技術がそこにはある。

▼ここでは南幌工場主力の「型枠用塗装合板」と「ノンスリップ塗装合板」を紹介▼

## 型枠用塗装合板



### ■ダイアックスの強み

コンクリート成形の曲面を美しく、効果的に仕上げるために必要なのが曲面成形合板である。ダイアックスの強みは品質の高さときめ細かいニーズへの対応である。

#### ①品質の高さ

薄い板を何層にも重ねてつくるRパネルであるが、ダイアックスは人の手によって丁寧に作る。手間を惜まず丁寧に作ることで高品質のものができる。ビル10階相当の建物の場合、型枠用塗装合板を2～3回交換することが必要となるが、ダイアックスの合板を使えば高品質のため1回で済むという、工事期間の短縮やコスト圧縮に大きな優位性をもつことになる。

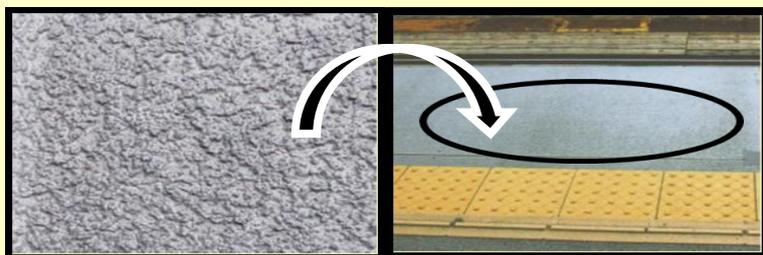
#### ②ニーズへの対応

他社の大量生産商品とは違い、合板の湾曲具合、塗装の色においてオーダーメイドが可能である。厚さも主流は12mmであるが、依頼によって24mmまで変更が可能だ。また塗装は幅1m20cmまで可能だがこの技術も他社にはない技術となっている。



■札幌学院大学経営学部碓井ゼミナールの中右・小嶋・瀧田が取材・作成しました。

## ノンスリップ塗装合板



### ■生産の経緯

かつて駅舎の改修工事の際、プラットホームの仮設床材はゴムマットを使うのが主流だった。しかし、ゴムマットは歩行による摩擦や日光の照射を強く浴びると波状になりやすいため、それが原因となる歩行中の転倒事故が問題となった。このような危険を回避するために開発されたのがノンスリップ塗装合板である。



### ■ダイアックスの強み

表面の塗装材に特殊成分を含むので弾力性があり、歩行時のクッション性、消音性に優れている。塗面に砂を撒いたような類似商品もあるが、砂粒は取れベアリング効果を発揮してむしろ危険である。厚みは2.4ミリから24ミリのものまで対応可能であり、全国のJR・私鉄各社の駅舎工事での納入実績がある。

このリーフレットは南幌工業団地広報プロジェクトにより作成しました



北海道空知郡

南幌町



JIMO x GAKU

◆ジモガクは学生地域定着推進広域連携協議会です。